



# 名古屋いのちの電話



写真 文 珠 幹 夫

い の ち

小 海 永 二

花です  
虫です  
からだです

鳥です  
草です  
こころです

それらはみんないのちです

いのちは  
どれも  
ひとつです

いのちのふるさと  
地球もひとつ

風が吹き  
雲の流れる地球のうえに  
要らないものなどありません

互いに支えているんです  
見えない手を出し 声を出し  
互いに支えているんです

どれもひとつで  
どれにもひとつ  
全部が大事ないのちです

『幸 福 論』

(土曜美術社出版販売) より



## “時間” —素晴らしい賜物—

塩 田 保

今年の8月末ニューヨークに行き、テロ一周年直前の“グラウンドゼロ”ワールドトレードセンター跡を訪れてきました。昔その50階のオフィスで仕事をしたTWIN TOWERは影も形も無く、きれいに片付けられた巨大な空間を前にして立ちすくんでしまい、そこで起きたことの恐ろしさをあらためて実感していました。周辺を歩きまわって昔を思い出し、ピザを食べながら人々の変わらぬ営みを見ているうちに何時の間にか、悲劇を乗り越えて、立ち直り、また明日に向かって生きて行く人間の力にすっかり感動していました。同時に事件後1年という時間のはたらきを考えさせられました。

私は今年、年男の満72才になりました。

世界一の長寿国となった日本は75才以上の人口が1000万人を超えたとのことで、未だ私はかけだしかも知れないと思っていますが、やはり身体全体にそれなりの老化が進んで来たと感じています。そこで人間は年を取ると何がどう変わるのか考えてみましょう。先ず身体の衰えは時計の針の進行とともに着実に進み、止まることがあります。若かった頃の柔軟な柔らかい筋肉やつややかな肌はいつか失われて年齢並の姿に変わってしまいます。では中身の方はどうでしょうか。中身の意味は心、意識、精神というような部分ですが、これは変わり方が全然違うように思えます。

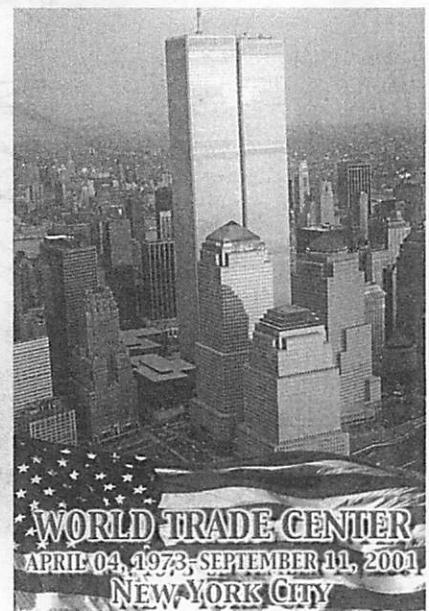
今年72才の中身は、若い頃の私からは全く違ったものに変わってしまったのではなく、むしろ随分昔の幼い頃の私や、青春時代の私、仕事一途の会社人間の私などがその折々の痛みや苦し

み、喜び等の感覚を持って、ちゃんと居るように感じられるからです。例えてみれば、樹木を切った時に年輪が現れるのと同じように、人間も何十年前の部分をそのまま中に残して年を重ねているのでしょう。

そしてこれによって、年を重ねた私が昔のいろいろな時期の自分を長い時間の経過を置いてかなり客観的に眺めるという、時に楽しく時にほろ苦いひとときを与えてくれます。

フランク・シナトラの絶唱で有名な名曲“MY WAY”の一節、“悔恨はすこしあるが、語るほどのものは無い。——涙が消えた今、それらは微笑ましいものと思える”(拙訳)を思い出しますが、やはり悔恨につながるような苦しみや痛み、悩みの体験がより鮮明に残るのは当然でしょう。

子どもの頃に近所の餓鬼大将のいじめやたから逃げて必死に裏道を走っていた私、異性との付き合いに悩み込んでいた私、信頼していた取引先に裏切られてどん底



## 2002年フォーラム

2002年9月7日(土) みこころセンターホールで開催し、60人の参加を得ました。

### ○おもな内容と日程

基調講演は講師に特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズ理事長の大西光夫さんをお招きして、「市民活動の現状と課題」について話していただきました。大西さんは講演のなかで、市民活動がうまくいかなくなつたときには、もう一度組織の目的を確認し、目的達成のための活動を列挙して整理する必要がある。また、ボ

ランティア活動といえども、「ひと・もの・かね・情報」の資源をうまく組み合わせて目的に迫っていかなければならない。それには、「いつ・だれが・どこで・なにを・どうする」のかをきちんと計画することが大切だと話されました。

続いて、電話相談員や友の会の役員によるミニシンポジウム「いのちの電話ボランティアにどうかかわるか」で、ボランティアとしてのそれぞれの役割や組織の諸問題について話し合いを深めました。

(相談委員長 兼田智彦)

にあった私など、今でも身近ないししい存在のように思えて、もし傍に来たら、おいそな程度のことに負けずに頑張れよと背中を叩いて励ましてやりたいほどです。

しかし、その時々には本当に深刻な追い込まれた状態だったと思います。時間が経過した今ようやく、どうしてあんなつまらぬことにとらわれていたのかとか、どうして違った観方ややり方に気付かなかつたのかなど、昔見えなかつたことがやつと見えてきます。

このことに私は生きるための良い知恵が学べると思っています。それは先ず自分がすべてを知っているという考えは完全に間違っていること、今持っている知識や情報、また人間関係の理解などは部分的な極く限られたものであつて、むしろ自分には見えない隠れた大きな部分が常に存在することを理解することです。このことは時間の経過によって必ず明らかになりますから、人間は許される限り一日でも一月でも一年でも長く生きることによって、真実にすこしでも近付けると言って良いのではないかでしょうか。

人が時間の経過によって苦難から立ち上がる力を得ることが出来、また真実に目を開く知恵を



NYワールドトレードセンター跡“グランドゼロ”

与えられることを、私は神様からの素晴らしい賜物と信じています。

(豊田通商株式会社 社友  
愛知いのちの電話協会賛助会員)

この小文を書き終えた頃、豊田壽子様（豊田英二トヨタ自動車最高顧問夫人）のご逝去の報を知りました。トヨタグループの商社にいた私は、若い頃から何度もお目にかかる機会があり、壽子様の温かいオーラで周りの人々を包み込む素晴らしいお人柄に心を打たれておりました。衷心よりご冥福をお祈りいたします。



## 公開講座

# 「精神的に病むってどんなこと？」

講師・県立城山病院 山田 勝

公開講座当日は「精神的な病いとは?」「治療と治療システム」「病態水準による病者の不安の違い」「病者として生きることの難しさ」の4点についてお話ししましたが、ここでは紙面の都合上、主に「病態水準による病者の不安の違い」についてのまとめを掲載します。

精神科の治療者は病者の病態を主に三つの水準に分けて考えます。「精神病水準」「境界例水準」「神経症水準」の三つです。水準によって葛藤の体験の仕方・表現の仕方が異なるのです。それに平行して、不安の主な内容・テーマも違います。だから、神経症の人が「人が怖いんです」と言う場合と、精神分裂病の人が「人が怖いんです」と言う場合とでは内容が違うのです。ただ、ここでの話は概念的な一般論ですから、決してここで得た知識だけで、利用者の不安を理解できるなんて思わないでほしいのです。皆さんも、電話を取っていて「人が怖いんで」と言われて、それだけで「分かった!」ってことはありませんよね。たぶん「どんな風に?」とか返して、共感的に理解できるまで聞くでしょう?あくまでそれが基本です。今日の話は共感的に理解するための参考に過ぎません。

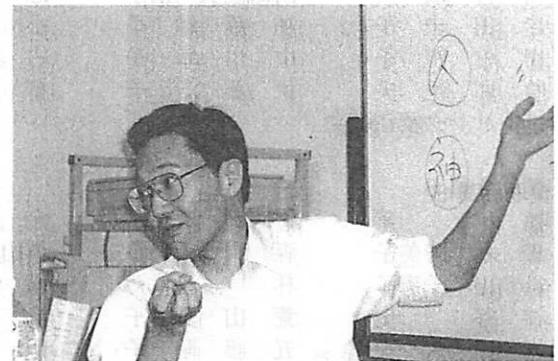
まず、精神病水準の人の場合は、葛藤や不安が心の中でおきても、幻覚や妄想で表現されます。皆さんもご主人とけんかして「死んじまえ!」とか思いますよね。え!ありませんか?それが精神病の人だと、心の中の体験のはずなのに、「あいつは悪魔だから殺せ!」なんて声が外から聞こえてくる。これが幻聴ですね。内界と外界の境界がなく、融合しているわけですね。その凄まじい所は、その人にとってはその声が真実そのものだと

いうことです。だから本当に殺すために刺してしまうことが起き得る。こんな風に、心の中で起きていることが外で起きていることと同じなんですね。逆に、外で起きていることは心の中で起きていることと同じ。分裂病の初期にある人は、「何か世界が変わりつつある気がする」ということをよく言われる。「この一週間、周りの様子がおかしい。何か破滅的なことが起きるんじゃないか」とかね。そんな風に「世界が変わる」というのは、私たちの体験で言うと自分が自分でないものに変わっていくという体験にあたります。皆さんはどうですか?朝おきたら犬になってたなんてことがありますか?私たちが当たり前だと思って暮らしていることはたくさんあります。デカルトも言うように、自分の存在というものはすべての基盤なんですね。そういう世の中の根底にある当たり前のことが、分裂病の人にとっては当たり前でない。ある日突然神になったり、犬になったりする。変わらはずのない自分というものを中心として構築されていることが、すべて崩れるという体験なんですね。皆さん想像できますかねえ。そこが想像できると精神病の人の不安が分かりやすくなるんだけど。私たちは常に自分を基準にして世界を把握している。カーナビが良い例でして、自分を中心には據えなければ状況が分からぬ。意味をなさないんです。その自分という基準が不確かなものになる。それが分裂病の人の病状の中心です。自分が不確かになっていく、自分が崩れしていく、だから同時に世界も崩れていく、そんな不安が彼らの訴えの裏に流れている「感じ」なんです。そこを汲み取るのが私たちの仕事だと思えると、やるべき

ことが割とはっきりしますね。

それに対して、境界例水準の人は、葛藤や不安が心の中に溜めておけなくて、すぐ行動に出ちゃうわけですね。多くの場合、行動するにはパートナーが必要です。配偶者とか、親とか、恋人とか、子供とか、治療者とか、行動する相手がいる。そして自分とそういう相手とが密着している。お母さんと赤ちゃんみたいなものですね。すぐその場で適切な世話をされないと一刻たりとも落ち着いていられない。そういう人にとっては、世話をしてくれる人に見捨てられるのが一番の不安になります。不安になるとそれに持ちこたえられずに行動してしまうのですが、行動にすることで相手が何か反応して、見捨てられていないことが確認できるという面もある。それと、分かってもらえないということがすごい脅威になる。分かってもらえないということは、その相手と自分が別の人間であるということに直面することになってしまいますから。ですから、いつも完全に理解されないと安心できない。ちょっとした言葉のやりとりがうまくいかないと激怒するのはそういうタイプの人たちです。あるいは、利用者に「あなた怒っているでしょう？」と何回も聞かれるとする。こっちは別に怒ってないから初めは「いいえ」と答えていますが、あんまりくどく聞かれるといつ「怒ってないって言ってるでしょ！」と怒ってしまうことになる。それは境界例の人たちの心にある怒りが、言葉のやり取りとは異なるチャンネルでこちらの心に投げ込まれているんです。彼らにとって自分と相手の心は密着しているわけでして、感情が直接伝わってくる。相談員が動揺して怒りとかで反応すれば見捨てられていないことが証明されたことになるので、彼らは心のどこかで安心する。しかしその安心は長続きしなくて、また同じ安心を求めて電話をかけてくる。頻回利用の理由はここにあります。受容や共感のスタンスでやるなら、彼らが怒りをこちらに向けたいという気持ちを返すわけですね。そうすると、向こう

は分かってもらえたという気がする。要は、利用者はどういう気持ちでそうするのか、それに対してこちらはどういう気持ちが動いているのか、その両方をモニターして、言葉にして返すことをしないといけない。だから難しい。すぐにこちらも相手の勢いに巻き込まれて、泣いたり怒ったり、おたおたしちゃう。



神経症水準の人たちなら、こちらにそういう類の大変さを感じさせない。彼らはもともと根が真面目なんですね。「人に迷惑をかけてはいかん」とか、「こうあるべし」というのがとても強い。だから自分の正直な気持ちとか衝動みたいのものを過剰に押さえ込んでしまうんですね。ある意味では社会性がすごくあって、ありすぎて融通が利かなくて、余裕がない。実を言うと、神経症水準の人の心の構造と、いわゆる正常と言われる人たちのそれとは、何ら変わりません。程度の差なんですね。だから共感しやすい。過剰に統制するってことは、逆に言うと感情や衝動が統制できなくなって出てしまう不安がすごく強いってことですね。そんな自分は許せない。こういう人たちに対して、受容的共感的に話を聞いていると、初めはそうでなくとも、そのうちに言葉と感情が段々とつながってきます。もともと神経症症状というのは、過剰統制によって本来の感情が押さえ込まれた結果出てくるものなので、本音が率直に語られるようになれば、症状はいらなくなるわけです。

とまあ、こんな風に病態水準によって葛藤の体験・表現のされ方や、不安の内容が違うわけです。

## ご援助ありがとうございます

2002年6月より9月末日までに下記の方々から暖かいご支援をいただきました。一同深く感謝いたしますと共に報告を申し上げます。(順不同・敬称略)

なお、上記期間内に何度もご寄付くださった方もお名前は1回にさせていただいております。

社会福祉法人愛知いのちの電話協会  
理事長 長岡 利貞  
財務委員会

### 賛助会員 A

鈴木	武省	二吾	清志	彦英	子	中野	悦美
加藤	孝敏	児夫	二郎	喜久雄	豊江	名古屋	靈病院
小川	村田	岩	田子	田智	寺	聖珠	紀久野
岩田	田村	渉澤	木田	太幸	谷宣	田井	明子
田牧	岡村	直次	木田	志志	水澄	酒井	映治
牧	岡恒	加藤	中橋	小古柳	志法	寺本	芝原
	恒	中伊	幸	柳	志	柿本	慶次
			藤	原	法	大真	・ゆかり
			ト	トモ	薬師寺	子	
					安達	酒田	
					恂	田	
						白	

カトリック蟹江教会

### 賛助会員 B

植田	希望	村瀬	政子	森	タ	イ	知津	子
青木	寿美子	森岡	鎧	眞山	成	美子	登喜	治二
亀山谷	千恵子	森林	喜代乃	光彌	弘	世子	光	子
神岩	史夫	荒五	眞喜子	横島	和	男子	昭	
加橋	古ら	竹内	昭子	飯山	満	子	淑	
	茂乃		哲子		田		千寿子	
					田			
					平山			

日本基督教団鳴海教会

### 賛助会員 C

林石	郁子	南山	教会婦人会	藤	衛	藤	和	子
田村	美代子	杉本	英夫	近松	昭	田村	若	子
外	新	前田	有美	川	佳代子	近松	中栗	紀

あと一ヶ月でクリスマスですね。ジングルベルのメロディが街々に流れ、ネオンや飾りの豆電球も一段と華やかになります。

クリスマス、つまりキリスト様が生まれた時に、大切な仕事をしたのは誰でしょうか?

…それは天使たちです。たとえば、天使が野の羊飼いたちに言いますね。「みんな喜びなさい。あなたたちの救い主が、今夜ベツレヘムの馬小屋でお生まれになりました。早く行って、その赤ちゃんを拝みなさい。」

そして、羊飼いたちがびっくりして、星空を見上げると、ひとりだけかと思っていた天使が、実は大勢いて、喜びの歌を合唱していました。「天には神に栄光、地には人々に平和を」と。

ところで、あなたはこの世に天使が本当に実在すると思いますか? イエスと答えるのは、十人で一人くらいではないでしょうか? しかし、実際に天使は存在するのです。しかも、人間の数よりずっとたくさんいます。そして、あなたたち一人一人に、ひとりあるいは複数の天使が、ちゃんとついています。それを「守護の天使」といいます。その他にも、たとえば乙女マリアに受胎告知をしたのは、大天使ガブリエルでした。大天使もたくさんいます。

さて、天使は死ぬか? ——死がない。天使は罪を犯すか? ——犯す者もいる。しかし、もし天使が罪を犯しても、身体を持たないのでから、それをどうやって罰するか? など、天使を研究すると、面白いことがいろいろ分かってきます。

(U.T.)

子子子一美子  
余佳節鉱由弘  
木谷谷橋部垣  
鈴水水舟服稻

雄之雄子之  
美  
一將良祐浩  
西水間川木  
寺清安小鈴

代志子子美  
和敏あ朋晴  
木佐木木沢  
鈴岩佐鈴梅

子み郎助子  
と五  
米ひ重伊倭  
嶋本塚田岡  
武杉飯戸片

子よ子子孝  
巳佐き昌喜吉  
村田田藤垣  
中上栗齊稻

## 寄付金

梶常中西矢満大宮建柴梶竹  
子子モ美子三江子枝子る  
早純ト多多一優政和昭て  
井野藤藤田崎和見野藤田  
花佐伊近樋岩小伏矢五守  
知

日本福音ルーテル希望教会  
愛知西地区教会婦人会連合  
聖靈奉侍布教修道女会  
繼鹿尾観音寂光院  
カトリック瑞浪教会  
カトリック尾西教会  
日本キリスト教団桃山教会  
真宗大谷派横超寺  
聖ドミニコ宣教修道女会岡  
知多市立看護専門学校自治

## 法人贊助

大真  
本柿寺薬師  
院松長宗洞曹  
豊輪三悦河(有)

(株) 豊田自動織機  
曹洞宗慶昌院

年末・クリスマス特別寄付のお願い

本年もまもなく、クリスマス・年末の季節をむかえようとしています。

例年この時期には「いのちの電話」の活動のために、特別寄付金を募っております。

今年度も何卒よろしくご協力をお願いいたします。

送金先：郵便振替口座 00810-8-53758

UFJ 銀行大津町支店 (普通預金) 477029

名義先 社会福祉法人 愛知いのちの電話協会

あなたの心の苦しさや悩みを、話してください。

<http://inochinodenwa.or.jp/>

主催：社会福祉法人いのちの電話 後援：厚生労働省

## 24時間、いのちのとなりにある電話



12月1日(日) 0:00より12月7日(土) 24:00まで (24時間無料)

## 自殺予防 いのちの電話

# チャリティ・コンサート

## 胡弓の調べ

12月7日(土) 午後7:00~8:30

場所:名古屋中央教会 入場料:2000円

◆ 賛助会員を募集しています ◆

### ご協力をお願いします

いつも資金ボランティアとして会費やご寄付をいただき有難うございます。心から御礼申し上げます。会員の皆様の倍旧のご支援と共に、会員増加の運動にもお力添えを賜りますようお願いします。社会福祉法人として寄付金の税法上優遇措置が受けられます。誠に失礼ですが振込票を同封させていただきます。ご利用ください。

- (1) 法人会費 年間5万円・10万円・20万円
- (2) 賛助会員(年間1口) A 10,000円 B 5,000円 C 3,000円
- (3) 一般寄付はご自由な金額で結構です
- (4) 夏期・年末寄付

口座名 社会福祉法人愛知いのちの電話協会

口座番号 UFJ銀行大津町支店(普) 477029

郵便振替口座 00810-8-53758

お問い合わせ…社会福祉法人愛知いのちの電話協会 名古屋いのちの電話事務局 ☎ 971-5181

### —編集後記—

家の近くにアメリカハナミズキの街路樹の並木があって、秋いち早く紅葉するその木々は、このところの輝くような日差しに照り映えて息を呑むほどの美しさを見せてくれています。身近にこのような美しいものある幸せを思い、それを味わいたくて、仕事場へ向かう時がんばって5分早く家を出たりしています。

さて、この「機関誌」に対しましては、いつも皆さまから様々なか形での反響を戴き何よりも励みにさせて戴いておりますが、この度は、前53号の表紙に詩の転載をご快諾下さいました武鹿悦子様より、当方からの機関誌ご送付に対し、また励みとなる温かいお便りを頂戴しました。ご達筆の文面にカメラマン文珠さんへのねぎらいの言葉もあって、日々を丁寧に生きていらっしゃる詩人のお姿が偲ばれ、教えられること多々でした。私もこのような気持で「いのちの電話」を少しでも支える一員でありたいと、改めて自覚した次第です。

(金森記)

社会福祉法人愛知いのちの電話協会  
名古屋いのちの電話

2002年秋

〒461-8691 名古屋東郵便局 私書箱第257号

事務局 ☎ 052-971-5181

郵便振替口座 00810-8-53758

2002年11月1日発行

発行人 長岡 利貞

相談電話 ☎ 052-971-4343

UFJ銀行大津町支店(普) 477029

編集人 広報委員会

携帯相談電話 NTT ドコモ東海 '# 9556'

# 追 悼

豊田壽子名誉会長を悼む

長岡利貞

私たちいのちの電話の発足当初を振り返ってみると、随分、思い切りよく出発したものと思う。「倉皇の間に」という言葉がピッタリの気がする。この衝に当たった人の多くは行動力のある実践家で、細部をつめた上で立ち上げるという方向ではなかったようだ。長年にわたり周到な準備のもとに発足した他のセンターとは出発点では幾分趣を異にしていたように思う。実際事業を立ち上げるにはこの流儀はとても貴重なものであった。

ただ財政・資金については多少の危惧があった。はじめは市民賛助者の善意に期待するというおおらかで、漠然としたものであった。ボランティア活動の実践家として多くの情報を蓄積されていた壽子さんは、この点には十分留意するようにと再々お言葉をいただいた。燃え上がる善意だけでは組織・運動にならないというのがそのご意見であった。

法人化・全国研修会の主管など財政上の問題が出てごとに、募金の委員長をお引き受けいただき、幸いにそれぞれ計画当初の不安は杞憂に終わった。

壽子さんは、またボランティア精神を自らのうちに体現された方である。発足当初、ボランティア精神の何たるかを理解していなかった私たちに、時に厳しく、時に優しく、ボランティアが何であるかを気づかせていただいた。この精神が曖昧では組織・活動もついには瓦解する。折にふれこの要を的確に指摘していただいた。壽子さんを協会の名誉会長に推戴したのもこの精神を長く伝えたいためであった。

物心両面にわたり多年私たちの活動を支えていたいのが壽子さんである。心より冥福を祈りあげる次第である。

(愛知いのちの電話協会、理事長)

ボランティア精神に徹する

木本精之助

豊田壽子名誉会長の訃報に接し、今更のように名古屋いのちの電話にとって、豊田さんが大きな存在であったことを感謝をもって想い起こしています。

開局当初より理事として熱意をもって関わって下さったことは、我々にとって大きな幸せでした。理事として、財務委員として、特に再度の基金募集中際としては募金委員長として、社会福祉法人設立のため、及び財政基盤の確立のために得難いご奉仕を頂きました。現在にいたる当協会の運営の基礎を築いて頂いたものといって過言ではありません。

いま一つの豊田さんの大きな貢献は、ボランティア活動の証しを身をもって示して頂いたことでした。豊田さんは、広い国際的視野に立って福祉や教育に深い関心を示され、特にボランティア活動には豊かな経験と、優れた見識を有しておられました。いのちの電話の理念や活動の実際に深い理解をもって折に触れ適切な助言を惜しまれませんでした。

みこころセンターで活動が軌道に乗り出した頃、理事・評議員会の席上のことでした。「熱心に奉仕される相談員の中には、遠方から通ってこられる方も少なくないので、可能な範囲で交通費を補助してはどうか」の提案があった。出席者から賛否の意見が交錯し論点が乱れそうになった時、豊田さんが発言された。「いのちの電話のボランティアは、どなたも自らの意思で進んで奉仕を志して参加されている。この尊い奉仕精神を傷つけるような配慮は慎みたい」と穏やかな口調ではあったが明確に述べられた。私には、「生起した現象への対応に心が奪われて基本精神を見失うことの無いように」との大切な教示を与えられた想いでした。出席者の間に爽やかな一致が生まれたことは言うまでもありません。

豊田さんの遺されたボランティア精神がこれからも生き生きと活かされることを願ってやみません。

「名古屋いのちの電話」12号(1988・11)を再掲載

## 名古屋いのちの電話に思いを寄せて

財団法人勤労センター憩の家理事  
豊田 節子

名古屋いのちの電話が1985年7月1日に開局し、満3年を迎えたこと、いのちの電話に携われてこられた皆様の大変な努力に対し敬意を表します。いのちの電話というだけに生半可な気持ちで取組めるものではなく、それをボランティア・システムでというのですから、さぞかしご苦労多かったこととお察しいたしております。

私も20数年前からボランティアの仲間になつていろいろの問題に出会っていますので少しほは理解できるように思います。ボランティア活動は他者とのかかわりで始まるのが多いのですが、他者の心を理解することのなんとむずかしいものであるか……。

私共がはじめたボランティア活動は最初、若年勤労青少年、いわゆる“金の卵”といわれた中学卒で遠く故郷を離れて社会で働き出した若者達の健全な成長を願い、母親がわりをしましようというでした。ボランティアの婦人達は殆ど自分の子供を育てた体験があり、子供と同じ様な年齢の若者達の母さんがわりが出来ると最初、気楽に考えていました。

しかし、実際に若者に接して相手の本音を知ることのむずかしさ、本音がわからなければ的確な交流・援助はできません。ここではじめて自分達の至らなさ、無知無能をはっきり知らされ、それは頭をガーンとなぐられた思いでした。しかし、なぐられっぱなしではお話になりません。それではまことに役立つボランティア活動をするためにどうしたらいいか。知らないことは勉強しなくてはということになり、カウンセリングという勉強があることを教えられ、臨床心理としてのカウンセリングの勉強に取組むようになります。自分のフィルターを通さずに正しく相手を理解することの困難さ、理解と肯定の違いなど、初歩的な勉強を重ねているうち、人間の尊厳、平等感、心の自由に気がつき、積極的感情から意欲が旺盛に発動し、創造的に機能するなど少しずつわかつてまいりました。今までの体験に照らし合わせてみて、あの時はこうだった、次の時、あんな会話になってしまったから駄目だった、と不思議なように解説できる場面も出てきて、もっと早く自分の子供達を育てる時にこの勉強をしていたら子供達も抵抗が少なかったでしょうに、とボランティアの中年婆さん達、顔を見合わせて残念がったものでした。

このことから察してみると、日常生活で私共は気づかずに入間の感情面を軽く見ていることが多いのではないかと思い当たります。学校教育も知的取得にばかり力をいれ、精神を育てることを大切にしないばかりではなく、管理に力が入り過ぎて、子供の、生徒の心を傷つけていることはないでしょうか。そんな思いで世間をながめてみると、なんと他者の心の中へ泥足で踏み込んだり、傷つけたり、侮辱したり、それを気づかなかったり、悪いことと思わなかったりしていることが多いのに驚かされます。デリケートな神経を持った人達はどんなにか傷ついているのではないでしょうか。だからこそ“いのちの電話”が大切な役目を果たすのだと思います。

名古屋いのちの電話では専門の立派な先生方が、ボランティアの皆さんをしっかり教育、訓練なさいますし、ボランティアの方々にも真剣に勉強され、電話のよき“きき手”として精進されていますこと、何よりうれしいことでございます。目には見えませんが皆様の力できっと多くの人々の心を癒し、いのちを守り、励ましをあたえていることと信じています。

しかし、まだまだいのちの電話を知らない人達は多いと思います。残念です。どうしたら知つてもらえるでしょうか。そしてまた、いのちの電話を守り育てるための応援者を増やすために、かかわりを持った私共は、何とかしなくては、との思いに駆られるのです。

1960年に私共のボランティア・グループはアメリカへボランティア研修旅行に行き、ロスアンゼルスの“ビバリー・グレン病院”でホット・ライン・システムのカウンセラーに話を聞きました。

25年前、ロスアンゼルスの子供病院で虐待されている子供のためにはじまったホット・ライン・システムがあつという間に全米中に広がったとのこと。ここでもやはり専門家であれ、ボランティアであれ、大へんきびしい訓練を受けているということでした。初歩的なボランティアがまず電話を受け、内容によってはすぐにもっと体験多い人に渡し、必要なればしっかりした専門家にバトンタッチできるのだということでした。印象的だったのは、私共に話をして下さったカウンセラーが世の中に役立つとても良いお仕事をしているのです、というように自信を持って明るい笑顔で熱心に話されたことでした。

名古屋いのちの電話を受け持たれるボランティアの皆様、どうぞ自信を持ってよきお仕事に取り組んでくださいませ。悩める人々の役に立つばかりでなく、ボランティアの皆様ご自身の豊かさが培われていくやり甲斐あるお仕事なのですから。

(名古屋いのちの電話理事)